

ドクサバフグについて

〔昭和 57 年 10 月 22 日 環乳第 68 号
各都道府県・各政令市・各特別区衛生主管部(局)長宛
厚生省環境衛生局乳肉衛生課長通知〕

フグの衛生対策については、かねてより種々御配慮を願っているところである。

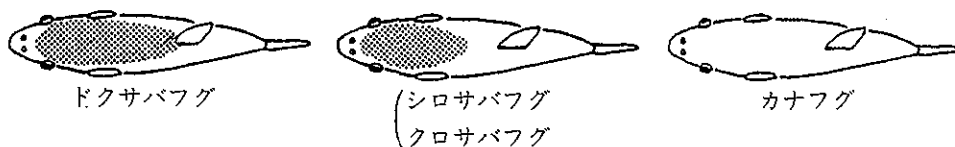
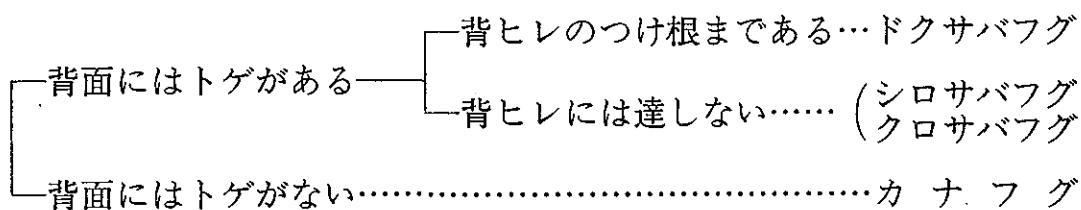
さて、今般、ドクサバフグによる食中毒防止のためシロサバフグ、クロサバフグ及びカナフグとドクサバフグとの鑑別法を別紙（別添）のとおり「ドクサバフグ鑑別法」及び「ドクサバフグの鑑別上の要点」（別添 1）として作成したので、フグ取り扱い業者等の教育に十分活用し、ドクサバフグによる不測の事故の防止に努められたい。

また、「ドクサバフグの部位別の毒力」（別添 2）も併せて送付するので参考とされたい。

別添 1

ドクサバフグの鑑別上の要点

1) 背面の小棘（トゲ）の分布



2) 腹面の小棘 (トゲ) の有無

- 腹面にはトゲがある…………… (ドクサバフグ
シロサバフグ
クロサバフグ)
- 腹面にはトゲがない……………カ ナ フ グ
(小粒状突起がある)

3) 尾の形と色彩

- 尾ヒレ中央は深く切り込んだものが多い……………ドクサバフグ
- 尾ヒレの下方は上方よりも短く白いものが多い……………ドクサバフグ
- 尾ヒレの切れこみは浅い……………シロサバフグ
- 尾ヒレの上下端は白く, 下方は白色又は灰色である……………シロサバフグ
- 尾ヒレの中央はむしろ突出している……………クロサバフグ
- 上下の末端はあざやかな乳白色である……………クロサバフグ

(注 カナフグは成長と共に尾の形が変化するが,
尾ヒレの先端は白い)

4) 背ヒレのつけ根の色彩

- 背ヒレのつけ根はとくに黒い…………… (ドクサバフグ
カ ナ フ グ)

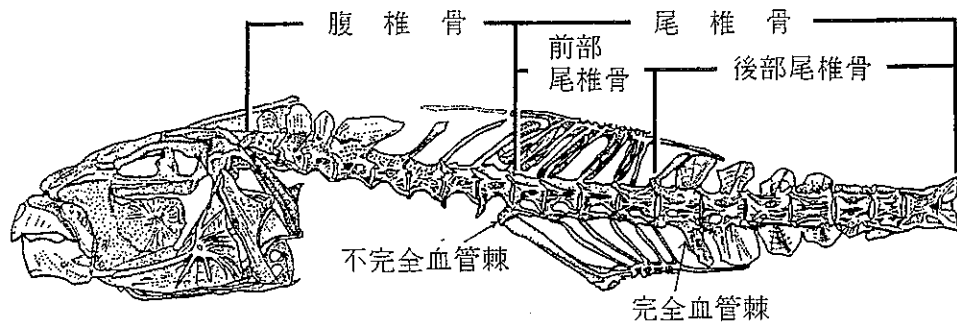
5) 鰓孔の色彩

- 鰓孔は黒い……………カ ナ フ グ

6) 脊椎骨数の差異 (図参照)

- 腹椎骨 8 + 尾椎骨 9 (後部尾椎骨 6 又は 5) = 17 ……ドクサバフグ
- " 8 + " 10 (" 7 又は 6) = 18 ……カ ナ フ グ
- " 8 + " 11 (" 7 又は 8) = 19… (シロサバフグ
(20) (クロサバフグ)

シロサバフグの骨格図



前部尾椎骨は最初の不完全血管棘をもつ椎体から後方の、最初の完全血管棘をもつ椎体の一つ前まで。

後部尾椎骨は最初の完全血管棘をもつ椎体から後方。

(注) 昭和 56 年度厚生科学研究費補助金事業に基づく研究結果である。

別添 2

ドクサバフグの部位別の毒力

No.	体 重 (g)	全 長 (cm)	毒 力 (MU/g)								
			筋肉	皮	精巢	卵巢	肝臓	腸	胆のう	脾臓	腎臓
1	650	28.5	69	38		1620	47	27	29	23	16
2	1120	34.8	256	104		1913	270	190	355	177	70
3	1340	36.5	129	73		2400	348	257	164	167	66
4	1220	36.7	239	209		4440	69	254	366	193	107
5	1200	36.5	86	62		2895	178	130	144	62	23
6	1080	36.5	7	12	19		12	12	18	22	6
7	650	30.0	30	23		1115	11	32	47	29	11
8	920	33.4	33	50		1700	34	51	35	95	21
9	1210	36.0	33	5>	148		132	57	119	88	10
10	1260	37.0	195	106		3360	196	30	275	235	52
11	1400	37.5	111	126		3372	201	197	540	264	62
12	570	27.5	7	15	7		15	15	40	31	7
13	820	33.9	76	36		1530	20	25	43	29	13
14	650	28.2	13	44	105		27	49	46	45	11
15	670	31.5	38	27		1055	24	27	5>	29	13
16	640	29.0	34	28		620	20	44	—	5>	15
17	960	36.0	58	33		2270	122	120	162	90	23
18	900	31.7	11	15		462	20	7	5	5>	5
19	620	27.3	50	44	150		24	52	46	54	12
20	520	27.8	78	69		2430	168	85	239	52	19
21	550	29.0	18	17	43		6	24	20>	20>	7
22	510	29.0	5>	9	40		5	8	20>	20>	5
23	700	30.7	82	46		1465	86	49	82	49	11
24	920	33.1	5>	20		415	5>	6	20>	20>	5>
25	1400	38.8	363	123		4240	483	693	536	528	164
26	780	30.8	51	49		1720	134	57	121	47	14
27	980	34.1	186	115		5320	56	121	116	152	61
28	570	29.5	140	91		3180	55	44	73	81	38
29	660	28.5	23	16	21		6	9	20	20>	8
30	850	30.5	28	16		1720	36	24	50	118	11

- (注) 1 昭和56年度厚生科学研究費補助金事業に基づく研究結果である。
 2 検体は福岡県・福岡市に依頼し入手したものである。
 3 漁獲海域は、東シナ海（日中漁業協定漁区537, 567及び579）である。
 4 1 MUとは、体重20gのマウスを30分で死亡させる毒量をいう。